

地域の安心を第一に考えた
病院づくりを目指していま

当院
理念

- 1 地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
- 2 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い、専門医療を実践します。
- 3 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。



TOPICS 夏祭り2010

今年も恒例の夏祭りが8月に開催されました。単調になりがちな入院生活に季節感を出し、少しでも楽しんでいただくことと企画・準備を進めて来ました。当日は昨年同様40名近くの患者さんご家族の方が参加してくれました。いつもの患者食堂も「ちょうちん」や「金魚すくい」、「ヨーヨー釣り」など、祭りらしい雰囲気飾られ、明るい笑顔がこぼれていました。各部署ののど自慢達による「カラオケ」では、患者さんからも飛び入り参加があったりと、会場を盛り上げてくれました。そして、用意した“ゼリー”や“水羊羹”を堪能して今年の夏祭りも幕を閉じました。



第16号 平成22年10月10日発行 / 発行元 医療法人社団 土田病院 / 編集 土田病院 広報委員会 / 次回発行平成23年1月1日



土田病院ニュース
2010年10月発行 **16**

地域医療連携室

相談受付時間:
午前9時から午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。
地域連携 / 他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。
医療相談 / 経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でのご相談でも構いません。

外来診療時間	[平日] 午前9時～午後6時
	[土曜] 午前9時～12時30分(専門外来は午前9時～12時です)

診療担当		月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:00	外科系診療	院長 北川	院長 平池	院長 山本	院長 平池	院長 北川	交代制
	内科系診療	土田	土田	土田	土田	土田	
午後 13:00 ～ 18:00	外科系診療	平池	山本	北川	北川	平池	
	内科系診療	土田	土田	土田	山本 土田	土田	

※日曜・祝日は休診いたします。



看護部長
高橋 淳子



着任にあたって

平成22年4月に看護部理念の見直しをいたしました。看護職員が当院の理念をよく理解して、常日頃から念頭に置きながら看護・介護業務を遂行してもらいたいと考え、看護部理念といたしました。

また、看護・介護の力を発揮できるような方針を掲げ、地域の皆さんのために努力していきたいと考えています。

「看護」とはその人がもっている健康な部分をどう引き出すか、その環境をどう整えるかにあります。ナイチンゲールは今から数百年前からこの事に気づき、「看護」とは何かを長い歴史を経て今現在までも変わらぬ「看護の心」を伝えて来ました。私たち看護職も「看護の心」を持って日々努力して行きたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

【看護部理念】

思いやりを持ったやさしい看護を提供する。

【看護部方針】

1. 信頼：患者、家族、職員との高い信頼関係を確立する。
2. 倫理：相手を尊重し倫理観に基づいた患者中心の看護を提供する。
3. 品質：看護研究・看護技術の発展を目指し、患者満足、職員満足向上のための看護を提供する。
4. 貢献：病院として、地域、社会の発展に貢献する。
5. 安全：全ての看護行動において模範(マニュアル)遵守する。
6. 環境：自然を尊び、エコ環境に努める。
7. 発展：適正な利益を確保し、病院発展の基盤を構築する。



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL
札幌市1次・2次救急指定病院
TEL 011-531-7013
札幌市中央区南21条西9丁目2-11
<http://www.tsuchida.or.jp>



診療科目

外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科・内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数

一般病室 / 35床(全室個室)、医療療養病床 / 99床



第3病棟看護師 井口敏子

「パッチワークキルトの会」を開催できるようになって半年が経ちました。講師は山田勢津子先生（当院経営管理部長夫人）です。先生はヴィンテージの生地や1930年代のパッチワークパターンを使い、大阪や東京、札幌に教室を開き、専門雑誌に多数作品を発表されている全国的に有名な方です。

私たちはこのたび、山田先生のご厚意により教えていただけることとなり、最初の作品は「コースター」です。基本の製図づくりから指導を受け、模様の取り方、配置などでもプロの指導に感激し、針や糸、はさみの使い分けも教えていただきました。仕上げのキルティングは縫い目が大きくても曲っても、ほどくと糸が細るのでそのままにして、その人の個性として表現し、自分で作ったものへの愛着として大切にすすめる方が良いと先生に励まされながらのスタートでした。

次の作品は「ポーチ」です。60ピースの布を組み合わせて、底を付け、ファスナーを付けていく作業の中には初めてのことも多く、私達には大作でした。先生はいつも優しく出来の悪い生徒の私たちに「おじょうずですよ!」と辛抱強く、丁寧に指導をしてくれ、励ましてくれるのです。

次の作品は「カードケース」です。1930年代のアンティークの生地がとても可愛く、なかなか手に入らない生地です。カードケース作りでも新しい技術を教えていただきました。小物でも手間のかかる作品です。私はこの間にポーチを10個ほど個人的に作ることができました。習う前なら考えられないことです。

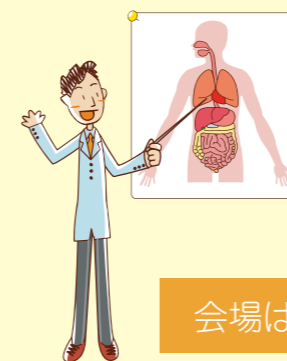
趣味が広がったという簡単なことではなく、生地に興味が出たり、一緒に作る仲間ができたり、良いことばかりです。次は「クリスマスツリー」作りです。どんな作品ができるのか今からとても楽しみにしています☆



第15回PEG・在宅医療研究会 (HEQ) 学術集会に参加して

医療法人社団 土田病院 看護師長 仲田 恵子

診療報酬の改訂により、胃瘻カテーテルの交換は画像診断を用いておこなった場合に限り算定できるようになり、各施設でカテーテル交換を状況に応じてどのように実施しているのかをテーマに、全国9施設の演題があり、私もシンポジストとして演題発表をさせていただきました。中でも在宅での交換手技で焦点となったのは、スカイブルー法やリマス法を行っての胃内留置の確認では、トラブル発生率は低いが診療報酬の算定はできない。又、診療報酬の算定ができる経胃瘻内視鏡を使用しているのは内視鏡の購入価格の問題があり論議されていました。画像診断をすることが難しい在宅での交換後の確認手技は今後も検討されていくことと思います。ケアミックスである当院では画像情報を患者の安全性と看護ケアの参考にできることから、胃内視鏡下とガストロ造影を使い分けて交換後の確認を行っています。しかし、さまざまなニーズに対応できるような手段も今後はもっと検討していかなければいけないと感じて来ました。



健康セミナー

専門の医師およびパラメディカルが分かりやすく解説します。ぜひお越しください。

会場はいずれも土田病院患者食堂です。

10月 第54回

日 時 平成22年10月26日(火) 予定
午後2時～
演 者 看護部

11月 第55回

日 時 平成22年11月30日(火) 予定
午後2時～
演 者 医 局

12月 第56回

日 時 平成22年12月21日(火) 予定
午後2時～
演 者 診療技術部

特定検診 メタボ検診 各種検診受付中!

当院では、特定検診やメタボ検診、肺癌検診を専門医が直接おこなっております。また、各種検診についても専門医が責任を持って、随時おこなっております。ぜひ、ご相談ください。

専門
外来

いずれも、保険適応となりますので、お気軽にご相談ください。



PEG・PTEG(胃ろう)外来

木曜日の午後

消化器(肝臓)専門外来

第2・4木曜日の午後
(13:00~17:00)